



安心と希望のための挑戦予算

2021年度(令和3年度)重点政策



はじめに

新年度から、新たな都市づくりの指針となる「福山みらい創造ビジョン」がスタートします。これまでの5つの挑戦を更に発展させ、市政への変化をより確かなものとしていくため、「新5つの挑戦」に取り組みます。

コロナ禍で生じた個人の価値観や社会経済における変化を受け、本市では、大都市圏から地方都市へ人の流れが定着するだけでなく、多様なライフスタイルが柔軟に選択できる新分散型社会の下で、市民一人一人の安心な暮らしと希望が実現する都市をめざします。

新年度予算を「安心と希望のための挑戦予算」とし、安心と希望の都市の実現に向けた第一歩を力強く踏み出します。そのために、「デジタル化の推進」を基盤に、「新型コロナウイルス感染症対策の強化」「都市魅力の創造」「人口減少対策の強化」の3つの柱に注力します。

新型コロナウイルス感染症は、いまだ予断を許さない状況が続いており、市民生活や社会経済に大きな影響を及ぼしています。1日も早く日常に「安心」を取り戻すため、何よりもまず、新型コロナウイルス感染症対策を強化します。

そして、コロナ禍で生じた個人の価値観の変化などを踏まえる中で、市民の皆様が快適で心豊かに暮らせるよう、福山駅周辺の再生や地域づくりなど都市魅力の創造に注力します。また、少子化対策や未来を支える人材の育成・確保など人口減少対策も一層強化します。

さらに、これらを支える基盤となる社会のデジタル化を強力に推し進め、めざす姿の実現に向けた原動力とします。

引き続き、「スピード感・情報発信・連携」を市政運営の基本に据え、現場主義を貫き、誰一人取り残されることのない「安心と希望の都市」の実現に向けて、全力で取り組んでまいります。

2021年(令和3年)2月

福山市長 枝広 直幹



安心と希望のための挑戦予算

当初予算額：約217億円

2021年度(令和3年度)重点政策

【一般会計分：約175億円(政策経費の約50%)】

I 3つの柱

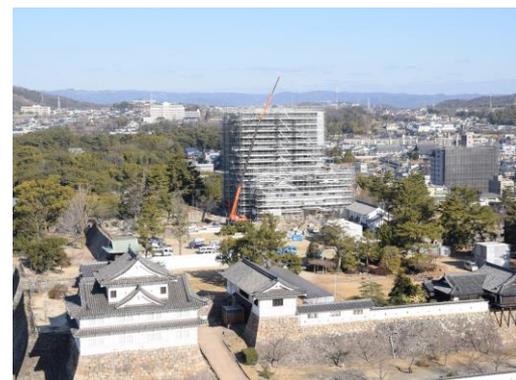
1 新型コロナウイルス感染症対策の強化

2 都市魅力の創造

3 人口減少対策の強化

II 3つの柱を支える基盤

デジタル化の推進



(参考) 2020年度(令和2年度)3月補正予算で先行実施

- 新型コロナワクチン接種 約29億円
- 抜本的な浸水対策(国補正による前倒し分) 約0.5億円

1 新型コロナウイルス感染症対策の強化

予算額：812,497千円

生活や社会に大きな影響を及ぼしている新型コロナウイルス感染症の対策に最優先で取り組みます。

① 感染拡大防止策の徹底

(392,123千円)

医療・検査体制の充実・強化

○ ① 後方医療機関支援事業の創設

- ・ 新型コロナウイルス感染症の治療後も基礎疾患などにより入院を要する患者を受け入れる医療機関への補助

○ ② 検査体制の強化

- ・ 保健所などでのPCR・抗原検査実施
- ・ 保険適用時の自己負担分の無償化

○ ③ 患者への支援

- ・ 入院に係る医療費の公費負担
- ・ 入院時における駐車場使用料の補助

○ ④ 医療従事者などへの支援

- ・ 帰宅が困難な医療従事者などへの宿泊費補助



予防体制の強化

○ ① eラーニング講習の実施

- ・ ガイドラインの普及啓発

② 市民への生活支援

(396,354千円)

子育て家庭などの応援

○ ① 子育て家庭への支援

- ・ 新たに子どもが生まれた家庭やひとり親家庭への応援金の支給
- ・ 子ども食堂やフリースクールの活動支援

○ ② 高齢者・障がい者への支援

- ・ 在宅の高齢者・障がい者への配食サービスの拡充

③ 中小事業者への支援

(24,020千円)

経営の下支え

○ ① 雇用の維持

- ・ 人材の余剰と不足を解消する人材シェアリングの推進

○ ② 事業の継続支援

- ・ ① 通所系介護サービス事業所・障がい福祉サービス事業所の訪問サービス実施のための補助
- ・ 利子補給による小規模事業者への無利子・無担保の融資支援

(3月補正) 円滑なワクチン接種

死亡者や重症者を減少させるとともに、社会全体のまん延を防止するため、国・県と連携したワクチン接種を行います。



【対象】 当面、16歳以上の市民

【接種方法】

○ 集団接種

・〔主な会場（予定）〕 旧体育館、松永支所、北部支所、東部支所、神辺支所

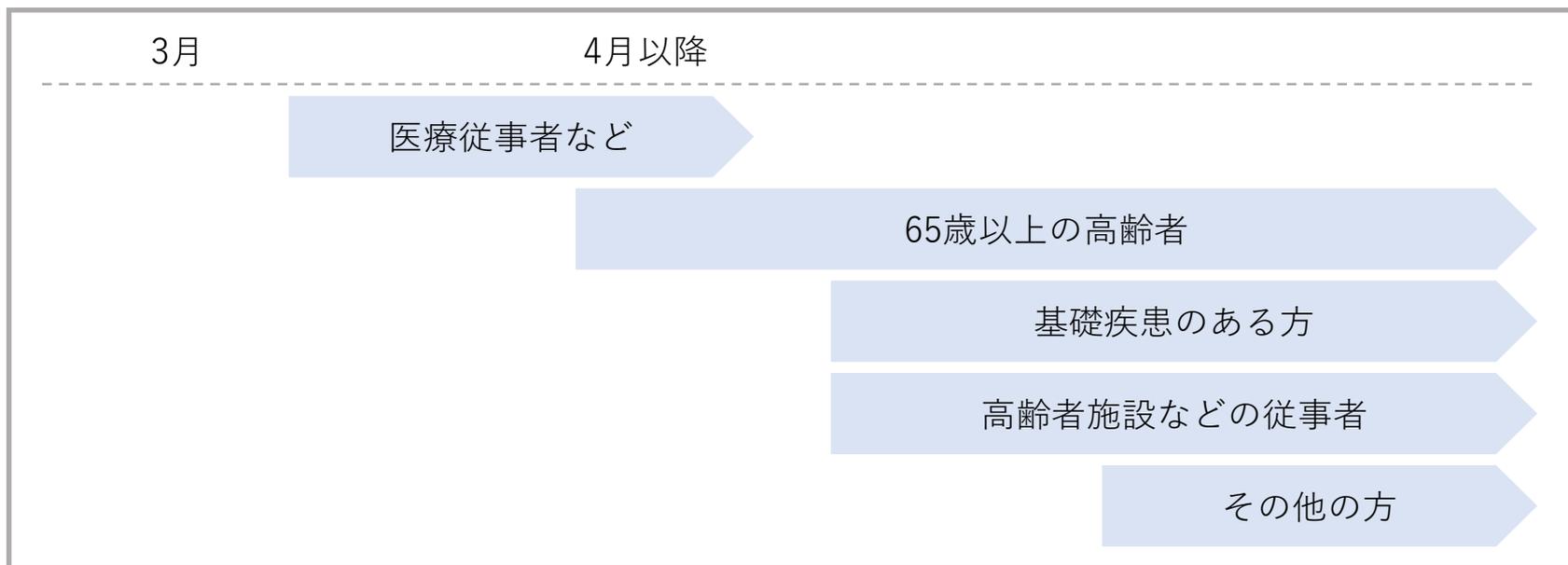
【費用】 無料

○ 個別接種

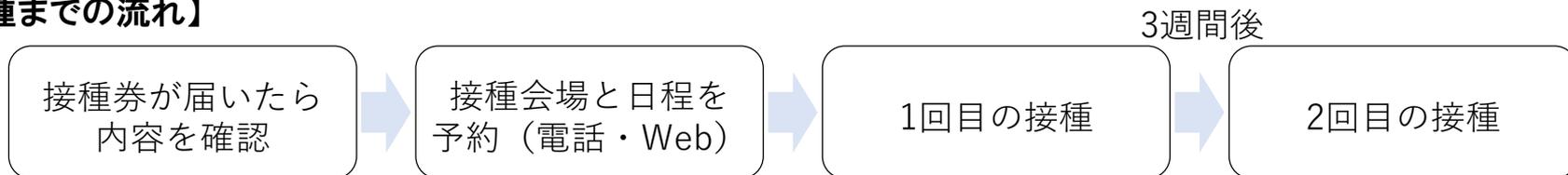
・ 医療機関

【接種回数】 1人2回

【接種スケジュール】



【接種までの流れ】



2 都市魅力の創造

予算額：14,497,970千円

福山駅周辺や地域のにぎわい創出、頻発化・激甚化する自然災害への備えなど、安心・希望の礎となる都市づくりに取り組みます。

① 福山駅周辺の再生

(676,579千円)

ウォーカブルな空間づくり

○ 新駅前広場の再整備

- ・ 基本方針の策定（2022年度）に向けた協議会の設置



○ 新福山駅前送迎バス乗降場の整備

- ・ 回遊性を高めるバス乗降場の整備

○ 新テラス営業の活用促進

- ・ 国家戦略特区などの規制緩和による道路空間の活用促進



○ 新エフピコRiMの再生

- ・ 改修工事、市民参加型イベントの実施（2022年4月リニューアルオープン）



※イメージ図

○ 福山城築城400年に向けた整備

- ・ 福山城の整備（再掲 p.9）
- ・ 新福山城公園大型バス駐車場の整備
- ・ 新駅北口スクエア広場の整備
- ・ 電線類の地中化、道路の美化

○ 三之丸町地区の再生

- ・ 建築工事の着手



※イメージ図

○ 中央公園Park-PFI

- ・ 施設の営業開始、イベントなどの開催

② 魅力ある地域づくり

(125,628千円)

地域の資源や個性の磨き上げ

○ 新地域戦略の策定

- ・ 各地域の資源や個性の分析を踏まえた地域づくりの戦略を策定

市民の声を反映する体制の構築

○ 新市政モニター制度

- ・ 市政に関するアンケートの実施

○ 新地域活性化会議

- ・ 地域課題の解決に向けた施策を議論

○ 新支所などの広聴機能の強化

- ・ 支所長を始め職員が直接市民の声を聴き、施策に反映



地域課題の解決

○ 空き家の活用促進

- ・ 新空き家の改修や家財道具の処分などに取り組む地域の支援

○ 新デジタル技術の活用支援

- ・ 地域活動へのデジタル技術の活用促進に向けた講習会の開催
- ・ デジタル技術を活用して地域課題の解決に取り組む地域への補助

○ 地域の担い手確保

- ・ 新多様な人材が地域課題の解決に関心を持つきっかけをつくるツアーの実施



○ 有害鳥獣被害の軽減

- ・ 新有害鳥獣の生息域と人里を隔てる緩衝地帯を整備する地域の支援



③ 医療提供体制の充実

(326,394千円)

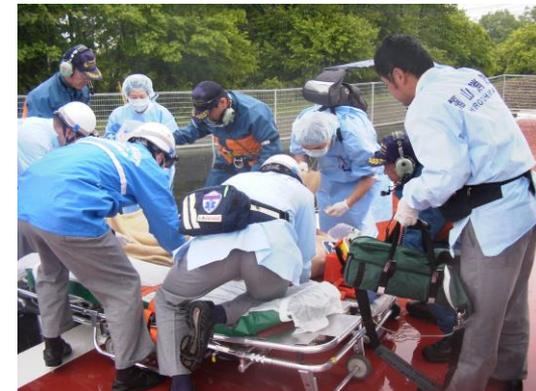
福山市民病院の機能強化

○ 新市民病院本館の建て替え

- ・がん医療・救急医療・高度専門医療の機能強化などに向け、増改築の基本設計を策定（2023年度 建設工事着手）

○ 新小児救急医療拠点病院の指定

- ・24時間365日対応の小児救急医療体制の整備



持続可能な医療提供体制の構築

○ 新周産期医療体制の強化

- ・大学と連携した医師の育成・確保
- ・持続可能な周産期医療体制の構築に向けた調査・研究



○ 医師の確保

- ・新初期臨床研修医の研修などに要する費用の補助



○ 看護職員の確保

- ・金融機関と連携した奨学資金制度の創設（再掲 p.11）
- ・学生向け市内就職支援セミナーの開催
- ・広島県ナースセンター・サテライト福山と連携した潜在看護職員の掘り起こし



④ 防災・減災の推進

(9,022,107千円)

抜本的な浸水対策

○ 国・県と連携した対策の強化

国	国土強靱化の推進 ・ 芦田川の河道掘削、堤防の強化工事着手
県	事業間連携河川事業の推進 ・ 手城川の河川改修工事（着手済み） 大規模特定河川事業の推進 ・ （仮称）福川排水機場の新設工事（着手済み） ・ 手城川排水機場のポンプ増設工事（着手済み）
市	事業間連携下水道事業の本格化 ・ 手城川流域における内水排除対策施設（雨水幹線・雨水ポンプ場）整備の工事着手 事業間連携河川事業の本格化 ・ 谷地川の河川改修の工事着手



ため池の安全対策の強化

○ ため池の耐震化・廃止

- ・ 【耐震化】川原山池（坪生町）、茂浦池（熊野町）
- ・ 【廃止】前の池（大門町）ほか3か所



地域防災力の強化

○ 自主防災組織の活動支援

- ・ 非常用発電機の配備
- ・ 防災リーダー連絡協議会との連携

○ 人材育成

- ・ 地域の防災をけん引する防災リーダーの育成

○ 総合防災訓練の実施

- ・ 全市一斉の福山市総合防災訓練
- ・ 広島県総合防災訓練・石油コンビナート等総合防災訓練



○ 防災重点ため池ハザードマップの作成・配布

⑤ 都市インフラの整備

(3,337,580千円)

地域経済を支える基盤整備

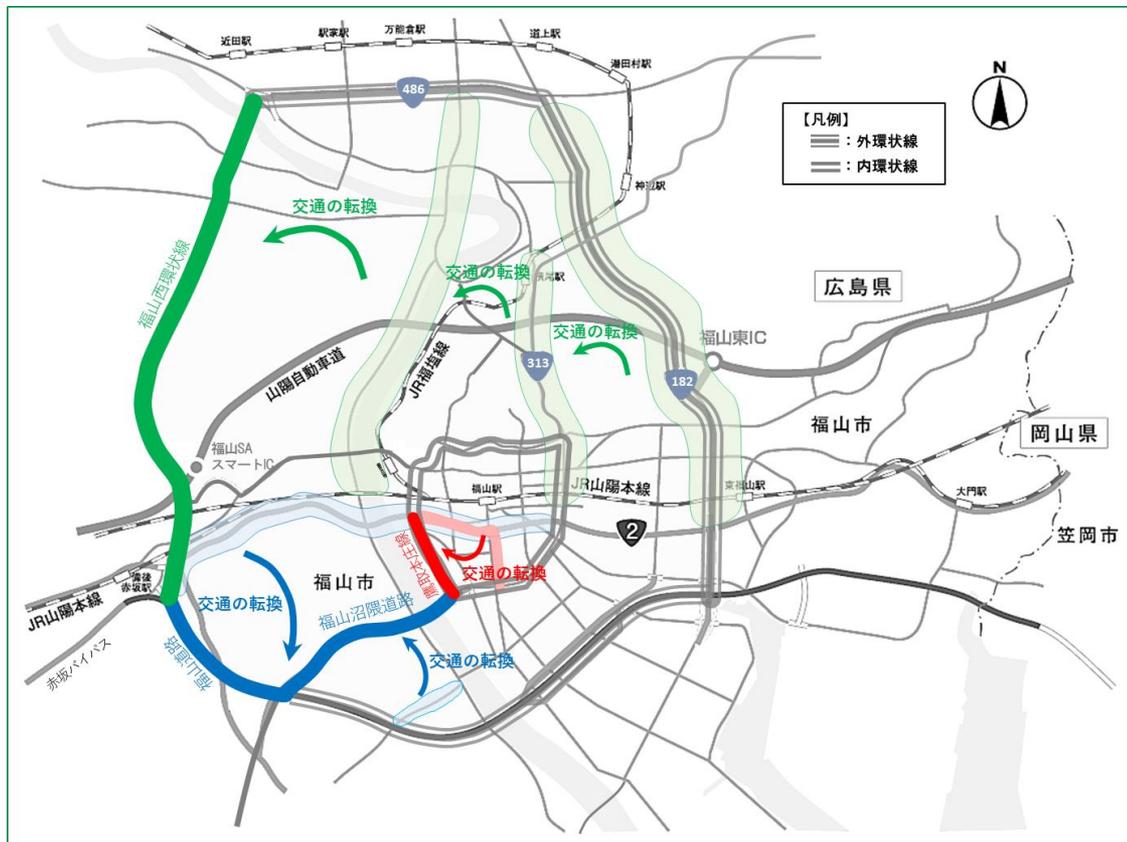
- 国・県と連携した
交流・物流ネットワーク機能の強化
 - ・ 幹線道路網の整備推進
 - ・ 主要渋滞区間などの渋滞対策検討
 - ・ 福山港の整備促進



- 福山北産業団地第2期事業の推進
 - ・ 2023年度内の完成に向けて工事に着手
 - ・ 分譲の公募開始

低炭素社会の構築

- 次期ごみ処理施設の整備
 - ・ 2024年度からの稼働に向けて工事に着手



主な産業支援策

(参考)

- 地域商社機能の導入に向けた基本方針の策定
- Fuku-Bizによる売上向上・創業に向けた支援
- オンライン展示会への出展支援
- 農産物・水産物のブランド化

⑥ MICEの推進

(1,009,682千円)

戦略的なMICE誘致

MICE推進協議会で推進

- **新**MICE人材の育成
 - ・ 関係事業者向けセミナーの開催
 - ・ MICEの開催を支援する福山MICEサポーターの育成
- **産業MICEの推進**
 - ・ 産業MICEのネットワーク構築とそれを生かした誘致の展開
- **エリアMICEの推進**
 - ・ 歴史・文化資源のユニークベニューとしての活用
- **新**MICEの推進に向けたサイン計画の策定
 - ・ 多言語案内標識の整備計画の策定



福山城築城400年へのカウントダウン

～2022年の築城400年に向けて～

- **築城400年に向けた機運醸成**
 - ・ 歴史シミュレーションゲーム「信長の野望」や応援サポーターと連携した情報発信
- **福山城の整備**
 - ・ 福山城耐震改修工事・外観復元
 - ・ 福山城博物館リニューアル（2022年8月リニューアルオープン）
 - ・ ライトアップ（鏡櫓など）の整備
- **新**イベントの実施
 - ・ 500日前・400日前・300日前・200日前イベントの開催

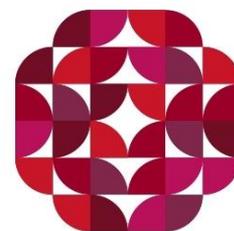


※イメージ図

世界バラ会議福山大会への本格始動

～2025年の大会開催に向けて～

- **大会に向けた機運醸成**
 - ・ PR活動の展開
 - ・ スポンサーの募集
 - ・ 大阪・関西万博と連携した情報発信
- **ばらの環境整備**
 - ・ 市内のばら園の植栽デザインの検討
- **新**ガーデンツーリズムの推進
 - ・ ばらをテーマにした旅行商品の造成



第20回
世界バラ会議
福山大会
2025

WFRS 20th
WORLD ROSE CONVENTION
2025 in FUKUYAMA

コロナ禍における

マイクロツーリズムとして展開

3 人口減少対策の強化

予算額：1,906,938千円

福山ネウボラの強化により少子化対策に取り組むとともに、本市の発展に不可欠な人材の育成・確保などに取り組めます。

① 福山ネウボラの強化

(1,868,246千円)



男性の育児参加の促進

○ 男性の育児休業取得支援

- 企業が男性の育児休業取得者の代替人材を確保する経費の補助

○ 子育てパパ活躍ウィークの充実

- 親子で参加できるイベント（びんごキッズラボなど）の充実



妊娠・出産・子育ての不安解消

○ 新ネウボラ相談窓口「あのね」と「えほんの国」の商業施設での再開

- 【開館】5月（予定）
- 【場所】天満屋福山店



○ 新ファイナンシャルプランナー相談

- ライフプランや経済面の不安などを気軽に相談できる体制の整備

○ 新子ども家庭総合支援拠点機能の設置

- 専門職による相談対応や継続的なソーシャルワークの中心的役割を担う拠点機能を新設

○ 産後ケアの充実

- 産後1年までの家庭を訪問し、母体の体調管理や心身のケアなどの育児支援を実施

子どもの学び・遊び場づくり

○ 新(仮称)子ども未来館構想の推進

- 市民や専門家などからのアイデアや意見を踏まえた基本構想を策定

○ 新富谷公園の遊具の美装化

② 未来を支える人材育成・確保

(16,910千円)

新たな基金の設置

○ ① 未来創生人材育成奨学資金

- 金融機関と連携した低金利の奨学資金制度と市内での就職を条件とした返済補助制度の創設

【対象】

デジタル人材、保育士、看護師をめざす学生



○ ② 初期臨床研修医の確保・定着

- 初期臨床研修医の研修などに要する費用の補助（再掲 p.6）



○ ③ 企業による奨学金返済支援制度の創設

- 従業員に対する奨学金返済支援制度を創設した企業への補助



○ ④ 企業の人材確保支援の強化

- インターンシップの実施支援
- 企業による自社就職試験への参加費支給に対する補助

○ ⑤ デジタル人材の育成

- デジタルをテーマにしたビジネスキャンプの開催（再掲 p.12）

③ 多様な働き方の推進

(21,782千円)

○ ワークेशनふくやまの推進

- 地域課題の解決につながるワークেশンの誘致
- ① びんご圏域周遊型ワークेशनツアーの実施
- 専用Webサイトを通じた情報発信



○ 兼業・副業による人材活用の推進

- 企業と兼業・副業人材のマッチング支援

II 3つの柱を支える基盤

デジタル化の推進

予算額：456,336千円

3つの柱を支える基盤となる社会のデジタル化を推進します。

① 推進体制の強化

(68,000千円)

庁内の体制強化

○ 新外部人材の登用

- ・ 経験豊かなデジタル専門人材を民間企業などから招へい

企業・人材とのネットワーク

○ びんごデジタルラボの立ち上げ

- ・ 多様な主体が集い、ものづくりなどのテーマごとに情報共有や事例研究を実施



② 社会のデジタル化

(388,336千円)

産業のデジタル化

○ 企業・事業者のデジタル化支援

- ・ 企業説明会のオンライン開催
- ・ スマート農業技術の導入支援
- ・ デジタル化を支援する相談窓口の開設
- ・ オンライン展示会への出展支援

○ デジタル化に向けた啓発

- ・ 首都圏のデジタル関連企業の経営者層やエンジニアと市内の学生や中小企業との交流（ふくやまビジネスキャンプ）
- ・ 先端技術活用講座の実施（ものづくり大学）



地域のデジタル化

○ ① デジタル技術の活用支援

- 地域活動へのデジタル技術の活用促進に向けた講習会の開催（再掲 p.5）



○ ② 地域課題の解決支援

- ① デジタル技術を活用して地域課題の解決に取り組む地域への補助（再掲 p.5）
- オンデマンド乗合タクシーの運行
- 自動走行の実証実験



○ ③ 高速通信網の整備による教育・保育などの推進

- タブレット端末を活用した児童生徒のオンライン学習の推進
- 保育のスマート化の実証実験
- 子育てに関する個別相談や親同士のつながりを作る座談会のオンラインでの実施



行政のデジタル化

○ 行政サービスの質の向上

- ① 福山市公式LINEの機能拡充
- ① 公民館などへのタブレット端末の整備
- AI案内サービスの対象分野の拡充
- 電子申請の対象手続の拡充
- キャッシュレス決済の運用

○ 行政内部事務のスマート化

- ① 文書管理システムの導入による電子決裁の推進
- ① 本庁舎のネットワーク環境の無線化
- RPAの活用業務の拡充



参考

- 連携中枢都市圏構想の推進
- 新5つの挑戦の主な施策
- 総合的な財源確保

ポストコロナを見据えた視点を取り入れながら、経済や医療などの重点プロジェクトを中心に連携事業を推進し、備後圏域の一体的な発展につなげていきます。



① 経済



びんごイノベーションエコシステム 形成支援プロジェクト

○ 圏域経済循環の強化

- ・ 地域商社機能の導入に向けた基本方針の策定

○ 地域資源の高付加価値化

- ・ オンライン展示商談会などによるデニムの販路拡大

○ 中小企業の人材確保・育成

- ・ 新入材シェアリングの推進
- ・ びんごキッズラボの開催

○ 新ドローンを活用した地域課題の解決

- ・ 人材育成や環境整備、実証実験の推進

広域観光・交流プロジェクト

○ マイクロツーリズムの推進

- ・ 食をテーマにした圏域周遊観光の促進

○ 新びんごワーケーションの推進

- ・ びんご圏域周遊型ワーケーションツアーの実施
- ・ Webサイトの共同利用による情報発信強化

② 都市機能

医療連携強化プロジェクト

○ 医療提供体制の確保に向けた環境整備

- ・ 新初期臨床研修医の研修などに要する費用の補助
- ・ 新周産期医療体制の強化
- ・ 診療支援や合同研修会など圏域内公立病院などの連携



③ 住民サービス

行政サービス効率化プロジェクト

○ 行政のデジタル化の加速

- ・ 申請様式の統一化
- ・ システムの共同利用・共同調達の推進

- ・ RPAやAI案内サービス、電子申請の導入・活用の支援

新5つの挑戦の主な施策

※これまでに掲載した施策も含む

挑戦1 福山駅周辺の再生加速とグローバル都市の創造

予算額：761,689千円



- 福駅前広場の再整備
- 福山駅前送迎バス乗降場の整備
- 福エフピコR i Mの再生
- 福山城公園大型バス駐車場の整備
- 福駅北口スクエア広場の整備

- しおまち海道サイクリングロードなどの取組
 - ・ 笠岡方面の県境サブルート整備
 - ・ 福動画配信などのプロモーション
- 戦略的なMICE誘致
- 世界バラ会議福山大会への本格始動

挑戦2 希望の子育てと寛容で健やかな社会の実現

予算額：3,168,791千円



- 福ネウボラ相談窓口「あのね」と「えほんの国」の商業施設での再開
- 福子ども家庭総合支援拠点機能の設置
- 男性の育児参加の促進
 - ・ 福男性の育児休業取得支援
 - ・ 子育てパパ活躍ウィークの充実
- 中学生までの医療費助成

- フレイル予防の推進
- 認知症の方を地域で支える取組の充実
- 福市民病院本館の建て替え
- 福周産期医療体制の強化
- 生活困窮・生活保護世帯の就労支援

挑戦3 人や企業が安心・安全に活躍できる都市環境の構築

予算額：12,571,807千円



- Fuku-Bizによる売上向上・創業に向けた支援
- デニムプロジェクトの推進
- 福企業のクラウドファンディング活用支援
- 市外大学への通学支援
- 福企業による奨学金返済支援制度の創設
- 福農林水産振興ビジョンの策定

- 幹線道路網関連整備事業
- 抜本的な浸水対策
- ため池の安全対策の強化
- 再生可能エネルギーの地産地消の推進
- 次期ごみ処理施設の整備

挑戦4 新たな価値を創出する人材育成と個性光る地域振興

予算額：2,983,582千円



- 授業における民間プールなどの活用
 - ・ 民間や公共のプールを活用した水泳授業の実施
- 「学びを拓く学校図書館」充実プラン
 - ・ 興味や関心が膨らむ図書の実践とリラックスできる環境づくり
- 義務教育学校の整備
- 福山市立大学キャンパスの拡充整備

- 官民協働による海外留学支援
- 持続可能な地域コミュニティの形成支援
 - ・ 地域コミュニティの再構築に取り組む地域の支援
 - ・ 地域づくりを支援する体制の整備
- 学校再編後の地域づくり
 - ・ 学校跡地の利活用を始めとした地域活性化
- 多文化共生のまちづくりの推進

挑戦5 歴史・文化とスポーツによる新たな体験価値の創出

予算額：1,764,839千円



- 福山城耐震改修工事・外観復元
- 福山城内堀遺構の保存活用
- 廉塾保存整備事業
- 神辺本陣保存整備事業
- 日本遺産を活用した鞆の浦の魅力発信
- 鞆町山側バイパス整備関連事業
- (仮称) 鞆町町並み保存拠点施設の整備

- ばらのまち福山国際音楽祭
- 鞆わがまちスポーツモデル事業
 - ・ エフピコアリーナふくやま一帯の更なるにぎわい創出
- 庭球場・水泳場の再編

デジタル化の推進

予算額：456,336千円



- 外部人材の登用
 - ・ 経験豊かなデジタル専門人材を民間企業などから招へい
- 企業説明会のオンライン開催
- 市役所のAI案内サービスや電子申請の利用促進に向けた講習会の開催

- 地域活動へのデジタル技術の活用促進に向けた講習会の開催
- デジタル技術を活用して地域課題の解決に取り組む地域への補助
- GIGAスクール構想の推進
- 本庁舎のネットワーク環境の無線化

総合的な財源確保

中期的視点に立った都市づくりを支えるため、次の3つの視点を中心に歳入歳出の両面で財源を確保し、持続可能で柔軟な財政に向けて取り組みます。

① 行政のデジタル化

先端技術を積極的に導入し、事務の効率化と市民サービスの向上を図ります。

- 行政サービスの提供や事務処理へのAI、チャットボット、RPAなどの活用
- タブレットの導入などによるテレワークの推進・事務の効率化
- 民間イノベーションを促進するオープンデータ化の拡大
- スマートフォンによるキャッシュレス決済の導入
- 国や県と連携したシステムの共通化に向けた検討 など

② 既存財産を活用した収入の拡大

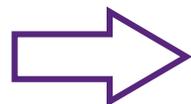
今ある資産を有効活用し、新たな収入を産み出します。

- 公共施設へのネーミングライツの導入
- 未利用スペースを活用した広告収入の拡大
- 庁舎敷地などのスペースの有効活用
- サウンディング（対話型市場調査）の活用による資産の売却・貸出の検討 など

③ 民間活力の活用などによる公共サービスの再構築

民間活力の活用を前提とする、官民連携による公共施設サービスの再構築を進めます。

- 授業における民間等プールの活用の拡大
- 保育所など、施設の民間移管・民間委託の推進 など



2021年度財源確保効果額 18億円

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

